

ヤングケアラー当事者の声から アプローチや支援方法を学ぶ

本来は大人が行うような家族の介護や家事を担う「ヤングケアラー」。
家族のケアが、こどもにとって過度な負担となり、こどもらしく過ごす大切な時間が奪われているような場合、周囲の大人や関係機関は、どのように関わり、支援していけばよいのでしょうか。元ヤングケアラーで、現在ヤングケアラーへの支援活動に従事されている 黒光さおりさんから ご自身のご経験をもとに具体的な支援のあり方を学びます。



講師

兵庫県尼崎市教育委員会 こども教育支援課
スクールソーシャルワーカー、社会福祉士、公認心理師

黒光 さおり 氏

尼崎市の小中学校および高等学校でスクールソーシャルワーカーとして勤務する傍ら、尼崎ティーンズ応援ネットワークを立ち上げ、尼崎市内でヤングケアラー当事者会を主催するなど、こどものところに寄り添った支援活動を展開中。講演活動も全国各地で精力的に行っています。

【主な著書】

『ヤングケアラーってなんだろう』ポプラ社（指導）

『自治体のヤングケアラー支援—多部署間連携の事例からつかむ支援第一法規（共著）』

日時

令和7年 11月20日(木)

13:30~15:30
(開場13:00)

会場

鶴岡市総合保健福祉センター
にこ♥ふる 3階大会議室

申込み方法

申込期間: 10月1日(水)~11月13日(木)

電子申請でのお申込みになります。

下記の希望する参加方法の二次元コードからお申込みください。

※会場参加のみ電話（0235-26-7043）で申込み可。

(1) 会場参加の方

(2) オンライン聴講の方



参加方法

参加費
無料

会場及びオンライン講演会

- (1) 会場参加
- (2) オンライン聴講

<問合せ先>

鶴岡市総合保健福祉センターにこ♥ふる2階
こども家庭センター 電話：0235-26-7043（直通）
主催 鶴岡市

